

2022 年 11 月 10 日  
 千代田化工建設株式会社  
 総務部 IR・広報・サステナビリティ推進セクション

## 2023 年 3 月期第 2 四半期決算説明会質疑応答要旨 (2022 年 11 月 8 日開催)

2022年11月8日に開催致しました、2023年3月期第2四半期決算説明会(電話会議)において、出席者の皆様から頂いた主なご質問と弊社の回答を以下にまとめております。

#	質問	回答
1	【完成工事高】 完成工事高は通期予想進捗率が 37%であるが、第 3 四半期以降、どのように推移していくか。	海外大型案件、特にカタール NFE とインドネシア銅製錬の工事が第 3 四半期以降本格化し、完成工事高は通期予想に向かって積み上がって行く予定。
2	【完成工事総利益率】 完成工事総利益率が前年同期 8.1%から 6.6%に低下している要因は。	完成工事総利益率の低下は、次の 2 点に因る。 ① 資材費・輸送費等の高騰に伴う増加コストについて、顧客との分担協議が纏まっていない案件について予備費を追加で計上したこと。 ② 国内好採算案件が完工に向かい収益貢献が漸減したこと。 ①については鋭意交渉を継続し、第 3 四半期以降に相応の顧客分担を勝ち取ることで、予備費の取崩し、すなわち利益化を図っていく。
	完成工事総利益率の通期予想は変更していないが、特殊要因を除くと現状の完成工事総利益率の水準はどの程度か。	完成工事総利益率は、特殊要因を除き、通期予想の水準で推移している。
3	【資材費・輸送費の上昇】 資材費、輸送費などのコストアップの影響はどうか。今後の見通しは。	海外プロジェクトはランプサム契約が多いため、コロナやウクライナ侵攻の影響で資材費・輸送費の上昇の影響を受けている。コストの問題は半年前に比較すると落ち着いてきている。コストをいかに縮小するか顧客、JV パートナーとコスト

#	質問	回答
		<p>分担について交渉を進めており、遂行中案件への影響をミニマイズしていく。</p>
4	<p><b>【為替変動の影響】</b>  通期予想の為替レートを120円から138円に変更しているが、円安が収益に及ぼす影響はどうか。</p>	<p>為替変動による業績への影響を回避するため、プロジェクトの外貨建ての債権・債務について原則包括的な為替ヘッジを行っており、損益への影響はニュートラルとなっている。</p>
5	<p><b>【受注見通し】</b>  通期受注見通しを3,000億円としているが、カタールLNG後続案件、国内ライフサイエンス案件などの受注見通し、進捗状況について伺いたい。</p>	<p>通期受注見通し3,000億円の内訳は、海外2,000億円、国内1,000億円である。  国内はライフサイエンス分野を主体に安定収益のベースロードとして計画に即した積み上げを目指す。  カタールNFSは、先行するカタールNFEの拡張案件であり、当社はカタールで一番多い実績を有しているため、当社の強みが活かされる案件と考えている。  一方、ロシア・ウクライナ情勢の影響によるコストアップなど依然ボラティリティは高く先行きは不透明な状況が続いており、リスクをしっかりと分析して見極めたうえで慎重に対応していく。  入札状況については顧客との守秘義務契約があるため、説明は控えさせていただきます。</p>
6	<p><b>【事業環境】</b>  ウクライナ情勢の影響によりLNGの需要が高まっている。LNGマーケットの今後をどのように見ているか。</p>	<p>ウクライナ情勢の影響により、特に欧州でエネルギーが逼迫している中、LNGはトランジションエネルギーとして重要視されている。各国でLNGの増産の検討が始まり、当社にも増産検討依頼が来ている。  ただし、LNGプラント建設は5-6年程かかる。5-6年先のマーケット予測は困難であり、石油・ガス企業は投資判断を慎重に行っている。当社が優位性をもつカタールはガスの生産コストが低く、投資の確率は高いと考える。  一方、LNG価格は高いレベルで推移しており、この状態が続けば、欧州で再生可能エネルギーへのシフトが一気に進む可能性もある。  物価の高騰によりLNGプラント建設コストが高くなることも</p>

#	質問	回答
		危惧されており、慎重な投資判断が求められている。 需要トレンドでは、アジアの需要が増加すると見ているが、 世界の2050年ネットゼロへの動きは変わらないと考える。 引き続き、顧客の状況を注意深く見守っていく。

以上

この資料には、本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。